



ほくとライブラリー



新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 215

R1. 秋の特別号

市民講座「もっと知りたい！ナマハゲのひみつ」

昨年めでたくユネスコ無形文化遺産に登録された「男鹿のナマハゲ」。

そんなナマハゲを心から愛する、男鹿市の地域おこし協力隊・大谷心さんを講師にお迎えし、クイズなどを交えながらナマハゲについて楽しく学びます！

日 時：令和元年11月3日（日・祝） 午後2時～3時

申込み：10月19日（土）午前10時から

電話（828-4215）または開館時に新屋図書館カウンターへ



秋のブックフェア

テーマ：大人も楽しめる！絵本の世界

令和元年10月22日（火）～11月10日（日）

10月27日から11月9日までの「秋の読書週間」にあわせ、秋のブックフェアを開催します。
ぜひお立ち寄りください！

10月・11月のおはなし会

10月5日（土）14:00～14:40

お月さま とって

～大型絵本・モビール作り～

（おはなしのへや・幼児～小学生）

11月2日（土）14:00～14:40

おたのしみ工作会

～木の実や身近なもので～

（研修室・幼児～小学生）

10月8日（火）10:30～11:00

おつきさま こんぼんは

～絵本・わらべうた～

（おはなしのへや・赤ちゃん～）

11月12日（火）10:30～11:00

いろいろ色遊び

～シフォン（布）遊び～

（おはなしのへや・赤ちゃん～）

11月18日（月）から12月2日（月）まで、特別整理期間のため
フォンテ文庫を除く市立図書館の全館が休館となります。ご注意ください。

新 刊 案 内

CLASSIC KI NO BI COCKTAILS

デイヴ・ブルーム／著 遠藤 建／訳
京都蒸留所、紫紅社 請求記号 588 (蒸留酒)

KI NO BI(季の美)とは、日本初のジン専門蒸留所「京都蒸留所」でつくられた世界に誇る国産のクラフトジンです。スピリッツ評論家のデイヴ・ブルーム氏が、柚子や山椒などを含んだ季の美誕生秘話と、その魅力を語ります。季の美を使ったカクテルも紹介されています。



どんな災害でもイヌといっしょ ペットと防災ハンドブック

徳田 竜之介／監修
小学館 請求記号 645 (防災)

犬を飼っている人は、日頃からペットの防災についても考えておく必要があります。自分にとっては家族でも、すべての人が犬好きとは限りません。実際に、避難所で、犬の鳴き声やにおい、アレルギーなどの問題が発生しています。愛する家族（ペット）を守るのはあなたです。



落ち葉切り紙

Killigraph／著
誠文堂新光社 請求記号 754 (切紙)

「おおもみじ」「いろはもみじ」など、実際に野山に生息している木の葉をモデルにした型紙で、秋らしい落ち葉の切り紙を作ることができます。作った落ち葉をリースにしたり、メッセージカードにしたり、ウォールステッカーにしたり…といった応用のアイディアも多数紹介。



きほんの木 花がきれい

姉崎 一馬／写真 姉崎 エミリー／文
アリス館 請求記号 65 (樹木)

どのページもどのページも美しい木の写真。それもそのはず。日本の野山に生える1000種類以上ある野生の木のなかから姉崎さんが「花が美しいと感じた10種類の木」を選びました。季節によって天気によって違う顔。みなさんにぜひおぼえてほしい10種類。



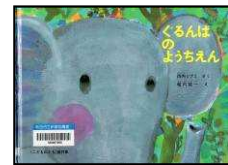
インターンシップ生のおすすめ本（秋田商業高校）

書名	白雪ひめと七人のこびと
著者名	グリム／原作、スベン・オットー／え、矢川 澄子／やく
出版社	評論社
所蔵	新屋、明德、イソップ号 請求記号 Eオ （ 絵本 ）



この本は、一人のお姫さまのお話です。お姫さまの名前は白雪ひめといいます。白雪ひめを産んだお妃はすぐに亡くなってしまい、王さまは新しいお妃を迎えました。しかし、新しいお妃は猟師に命じて白雪ひめを殺そうとします。間一髪逃げる事ができた白雪ひめは7人のこびとの家に住むことにしましたが、そこへ小物売りのお婆さんになりすましたお妃が現れます。白雪ひめはお妃から渡された毒りんごを食べて倒れてしまいますが、最後には王子さまのキスで目覚めるのでした。

書名	ぐるんぱのようちえん
著者名	西内 三十三／さく、堀内 誠一／え
出版社	福音館書店
所蔵	新屋、明德、土崎、河辺、雄和、イソップ号、フォンテ 請求記号 Eホ （ 絵本 ）



ぐるんぱという、ずっと一人ぼっちで暮らしてきた大きな象が働きに出ます。たくさんの失敗をしますが、最後にはその失敗を生かして幼稚園を開き、一人ぼっちではなくなる、というお話です。

この絵本は、絵のタッチが可愛く色もカラフルで子どもがとても興味を持ち、楽しめるようになっています。特に、最後はページいっぱい子どもがしてみたい遊びが描いてあり、私も子供の頃わくわくした思い出があります。

書名	ふたりはきょうも
著者名	アーノルド・ローベル／作、三木 卓／訳
出版社	文化出版局
所蔵	新屋、明德、土崎、河辺、イソップ号、フォンテ 請求記号 Eロ （ 絵本 ）



この本は、親友のかえるくんとがまくんの心温まるお話が5つ載っています。物事をすぐにあきらめてしまうがまくんをしっかりとるのかえるくんが励ましていくお話です。私が一番好きなお話は、「ひとりきり」です。ひとりきりになりたいとかえるくんを元気付けようとするがまくんの姿がとても感動的でした。他のお話も面白いのでぜひ読んでみてください。

書名	おさるのジョージ ゆめをみる
著者名	M. & H. A. レイ／原作、渡辺 茂男／訳
出版社	岩波書店
所蔵	新屋、明德、土崎 請求記号 Eレ （ 絵本 ）



この本は、おさるのジョージが1日中、「ちいさすぎる」と言われるお話です。ジョージはその日、動物園で「うさぎをだっこするには手がちいさすぎる」、回転木馬のおじさんやジェットコースターのおじさんには「ひとりではのせてあげられない」と言われてしまいます。1日中いろんなことがあり、家に帰ったジョージは疲れて目を開けていられなくなりました。ふと気が付くとジョージは夢の中で、周りの物全てが小さくなってしまい…。ジョージがどうなるのか、続きは絵本を読んでみてください。

記事になったお酒の話題あれこれ・・・ワイン条例？・・・

小坂町が、町民や観光客に、町産ワインでの乾杯を推進する条例案を、町議会に提出。全会一致で可決しました。飲食店や宿泊施設で、地場の料理とワインを楽しめる雰囲気を作り、観光振興につなげるねらいです。

これまでも、県などで地酒（ワインや日本酒を含む）による乾杯を推進する条例は制定されていますが、ワインに特化した乾杯条例は、県内初だそうです。

「とりあえずワインで」が聞ける日も近いかもしれませんね。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

秋田魁新報

2019年9月3日

平成ってどんな時代？ …平成29年…

1年を振り返ってみると、その年に起こった出来事の多さに驚きます。平成29年（2017年）も、政治やスポーツなど様々な分野でニュースが飛び交い、世間を騒がせました。

新年早々、世界中の注目を浴びたのは、今も何かとお騒がせのドナルド・トランプ氏の米大統領就任でした。日本では、浅田真央選手の現役引退のニュースが大きく報じられました。涙をこらえ笑顔で会見に臨んだ姿が印象的でした。また、パンダの赤ちゃん“シャンシャン”の誕生や作家のカズオ・イシグロ氏がノーベル文学賞を受賞したことも話題になりました。ノーベル文学賞受賞の際は、図書館でもあつという間に著書に予約が殺到しました。この他、雪崩に巻き込まれ高校生8人が死亡した事故や小林麻央さんが闘病の末亡くなるという痛ましい出来事もありました。

秋田では、人口が100万人を割ったのがこの年でした。また、8月には大雨に見舞われ、各地で被害を受けました。この大雨によって大曲の花火大会の開催が危ぶまれましたが、懸命な復旧作業の甲斐あって、当日は花火大会を開催。たくさんの人たちを笑顔にしてくれました。

【参考資料】『読売報道写真集2018』『調べる学習子ども年鑑2018』

図書館員のひとりごと

うちの老犬は夜中に散歩をすることがあります。ある夜、散歩をしていると目の前をキツネのような動物が横切ろうとしていました。キツネもこちらに気づき、様子をうかがっています。このままでは可哀想なのでUターン。するとキツネが距離を取りつつトコトコついて来ます。心の中で「可愛い！」と歓喜！そして振り返ると、目の前に茶トラのネコ！老犬を警戒して丸くなっていました。これは何かのご褒美！？と夜中に1人で大興奮！

そしてふと足元を見ると、このタイミングで老犬が毛づくろい。動けない2匹。そんなマイペースなうちの娘が1番可愛い…。（長井）

今年の夏の最高気温は秋田で38度を超え、全国では41度を越えたところがあった。

そこまで上昇したのが嘘のように過ごしやすい（はず）の今日この頃である。

数年前に「2番ではだめなんじゃないか。」という発言が注目されたことがある。

いやいや最高気温の記録なら1番や2番どころか40番台でも全く問題はない。

とにかく、突き刺さるような強い日差しだけは勘弁してほしい。

でないと、野外フェスに紫外線を遮るフード付の長そで上着に帽子、マスク、サングラスの怪しいオジサンが出没するぞ。（小松）